

主の恵

2012年1月21日

ヨハネの福音書3:31-36

メッセージの応用：

（１）わたし達は日常生活の中でどのようにして、バプテスマのヨハネの弟子達のようにイエスが天国から来られた神の一人子であること、またイエスは全ての人に優る権威を持っておられるということを忘れてしまうだろうか？（イエスが天から来られたということについて、詩篇 115 篇 3 節参照）

（２）イエスの御言葉は誰よりもすばらしく、真理であるということを知るとき、世のさまざまな情報に対するわたし達の反応はどのように影響されるだろうか？

（３）ヨハネの福音書にある、イエスの自分自身に対する証言を示す言葉は、わたし達の伝道にどのようなことを教えてくれるだろうか？

（４）イエスの権威とイエスが父なる神より全てを受けるために実行されたことは、わたし達のイエスに対する忠誠にどのようなことを教えてくれるだろうか？そして、福音への確信に対し、どのようなことを教えてくれるだろうか？他の方法で救われる、という証言にどう影響するだろうか？

（５）イザヤ 55 章 6－7 節と 8－9 節の関係を見るとき、何を学ぶことができるだろうか？）マタイ 6 章 14－15 節；エペソ 4 章 3 2 節；エゼキエル 18 章 23－32 節参照）

先週より：

（６）あなたの日常生活の中で、自分から視点はずし、イエスのことをもっと考えて生きるために何ができるだろうか？